

# 基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

## 【事業の内容について】

事業名	市民提案型まちづくり事業				担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	NPOやボランティアの持つ専門性、迅速性を生かして地域の課題解決を図る。				事業主体	糸島市			
					実施方法	補助			
事業内容	市内で活動する団体が独自の発想を持って提案する事業で、協働のまちづくりと団体の育成、充実につながるものについて補助するもの。 補助対象者 ・営利活動、政治活動または宗教活動を目的とせず、市内に事務所を有し活動するもの 補助金の額 ・1事業50万円を上限に、予算の範囲内で団体に補助				進捗状況・現状	書類審査、内容審査を経て交付を決定。 【事業実績】 過去3年間 H28 提案 7 実施 5 H29 提案 6 実施 5 H30 提案 8 実施 6			
事業期間	平成30年度～平成32年度(3年間)				会計種類	一般会計			
総事業費	9,327	千円	(うち市予算化分)	9,327	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	9,327	千円		9,327	千円		2	1	7
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値	
糸島市で活動するNPO・ボランティア等の市民	NPO・ボランティア団体等のスキルアップ・充実		活動指標	市民提案を実施した団体数(団体)		121	126	131	
			成果指標	市と市内で活動している市民団体に実施した協働事業数(事業)		83	88	93	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他	1,500			1,500	
	一般財源(a)	1,009	2,509		3,518	
事業費(A)		2,509	2,509	0	5,018	
主な事業費内訳		補助金、審査委員謝礼	補助金、審査委員謝礼			
従事職員数(人)		0.2	0.2		平均人件費	8,700
人件費(B)		1,740	1,740	0	人件費割合(%)	41.0
総コスト(A+B)		4,249	4,249	0	総コスト計	8,498
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
その他	糸島市ふるさと応援基金	糸島市ふるさと応援寄附条例				

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	福岡マラソン実施事業				担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	スポーツの振興と地域の活性化を図り、福岡・糸島地域一帯の魅力を高めることを目的に「福岡マラソン」を開催する。併せて、大会を盛り上げ、糸島市を積極的にPRするため、糸島市独自の事業を展開する。				事業主体	福岡マラソン糸島協力会		
					実施方法	補助		
事業内容	福岡市都市部をスタートし、糸島市でフィニッシュする市民参加型フルマラソンを開催。大会開催に併せ、糸島市独自にイベントやおもてなしに関する事業を実施する。 > 協力会事務局費；市内マラソン応援事業等の計画・運営を取り仕切る。 > 沿道応援事業；コース沿道のランナー応援や応援バス運行等。 > もてなし事業；フィニッシュ会場でランナーや応援者等に糸島産品等をPRする。				進捗状況・現状	福岡マラソン開催初年度(平成26年度)から実施 【沿道応援事業】 H26年度；10事業、H27年度；12事業 H28年度；12事業、H29年度；13事業 H30年度；12事業 【もてなし事業】 H26年度；30事業、H27年度；38事業 H28年度；37事業、H29年度；41事業 H30年度；42事業		
事業期間	平成31年度～平成33年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	30,000	千円	(うち市予算化分)	30,000	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	30,000	千円	30,000	千円	予算科目	10	5	1
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民	まちづくりへの参加		活動指標	沿道応援事業数(件/年) もてなし事業数(件/年)	0	沿道；12 もてなし；42	沿道；15 もてなし；40	
			成果指標	沿道応援やもてなし事業に参加した市民の数(人/年)	0	1,101	1,650	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他	1,400	1,400	1,400	4,200	
	一般財源(a)	8,600	8,600	8,600	25,800	
事業費(A)		10,000	10,000	10,000	30,000	
主な事業費内訳		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.1	0.1	0.1	平均人件費	8,700
人件費(B)		870	870	870	人件費割合(%)	8.0
総コスト(A+B)		10,870	10,870	10,870	総コスト計	32,610
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
その他	都市圏共同事業補助金					

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	地域主体のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	広域連携プロジェクト事業				担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	福岡県が設定する広域地域振興圏の一つである糸島地域において、県と市が協働して広域連携プロジェクトを策定・推進し、糸島地域の振興に寄与することを目的とする。				事業主体	糸島地域広域連携プロジェクト推進会議		
					実施方法	負担金		
事業内容	糸島の未来の人材を創る「いとしま学」プロジェクト ・糸島を学ぶ「いとしま学チャレンジ教室」 ・「いとしま学」講座 ・「いとしま学」副読本改訂検討会				進捗状況 ・ 現状	H27～H29の3ヵ年で以下の事業を実施 ・九大生による学習応援「九大寺子屋」 ・糸島市民が誰もが誇れる「いとしま学」 ・未来の糸島を創る「未来のいとしま学」 ・糸島魅力をいかした「観光づくり」 ・生徒とともに学ぶ「糸農講座」		
	糸島地域農業振興プロジェクト ・糸島農業高校との連携事業(生徒とともに学ぶ「糸農講座」) ・中村学園大学との連携事業							
事業期間	平成27年度～平成32年度(6年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	30,276	千円	(うち市予算化分) 15,138	千円	予算科目	款	項	目
	30,276	千円	15,138	千円		2	1	7
昨年度の実施計画に計上した総事業費		30,276	千円	15,138	千円			
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民	糸島市が持つ魅力の広域的な発信	活動指標	プロジェクト数(回)		2	3	3	
		成果指標	実施事業数(件)		5	6	6	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金	(5,046)	(5,046)		(10,092)	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	5,046	5,046	0	10,092	
事業費(A)		(5,046) 5,046	(5,046) 5,046	0	10,092	
主な事業費内訳		負担金	負担金			
従事職員数(人)		0.1	0.1	0	平均人件費	8,700
人件費(B)		870	870	0	人件費割合(%)	14.7
総コスト(A+B)		5,916	5,916	0	総コスト計	11,832
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
県支出金	糸島地域広域連携プロジェクト推進会議負担金	糸島地域広域連携プロジェクト推進会議規約			50%	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	地域主体のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	糸島市民まつり事業				担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	市民総参加による「市民が主役」の糸島市民まつりを開催し、その振興を図ることによって、地域活性化、一体感の醸成、市を広くPRすることを目的とする。				事業主体	糸島市民まつり振興会			
					実施方法	補助			
事業内容	糸島市の持つ人と地の「力」を最大限に発揮し、市民ボランティアと市職員等が協働でイベントの企画・運営を行う。 <主な内容> >メイン会場(志摩庁舎駐車場) ・糸島グルメグランプリ、野外ステージ、27時間連続餅つき、よかもん物産展、わんぱく広場、公共ブース設置等 >加布里漁港 花火会場 ・花火大会 約4000発打ち上げ				進捗状況 ・ 現状	[来場者の推移] 平成27年度 70,000人 平成28年度 60,000人 平成29年度 65,000人 平成30年度 台風接近に伴い中止 市を代表する「まつり」として内外に認知されており、来場者数も高い水準で安定して推移している。			
事業期間	平成31年度～平成33年度(3年間)				会計種類	一般会計			
総事業費	30,000	千円	(うち市予算化分)	30,000	千円	款	項	目	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	26,000	千円		26,000	千円	2	1	7	
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値		
市民	地域の活性化・市民の一体感の醸成	活動指標	市民まつりに参加した市民団体等の出店数・出演数(団体)			104	110	120	
		成果指標	来場者数(人)			65,000	70,000	75,000	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	10,000	9,000	9,000	28,000	
事業費(A)		10,000	9,000	9,000	28,000	
主な事業費内訳		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	15.7
総コスト(A+B)		11,740	10,740	10,740	総コスト計	33,220
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	地域主体のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

## 【事業の内容について】

事業名	行政区等公民館及び児童遊園地施設費等補助事業			担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	行政区等が実施する公民館等の整備等に対し、補助金を交付することで、地域拠点の整備と地域コミュニティ活動の活性化を図ることを目的とする。			事業主体	各行政区			
				実施方法	補助			
事業内容	行政区等が設置し、管理する公民館の建設等及び児童遊園地の施設整備並びに当該用地購入に対し、補助金を交付する。 ・行政区公民館 事業費の25%補助(限度額500万円) ・隣組等公民館 事業費の20%補助(限度額400万円) ・児童遊園地 事業費の25%補助(限度額 45万円) 補助対象事業費100万円以上、事業に付随する備品(公民館または児童遊園地の運営に必要な備品)の整備を含む。			進捗状況 ・ 現状	[交付実績] 過去3年間			
					H28(8件) 5,733千円 H29(11件) 17,535千円 H30(10件) 予算額 8,000千円			
事業期間	平成31年度～平成33年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	35,478	千円	(うち市予算化分) 35,478	千円	予算科目	款	項	目
	2	1	16					
昨年度の実施計画に計上した総事業費	29,690	千円	29,690	千円				
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値		
市民	地域コミュニティの充実	活動指標	行政区等公民館建設・改修件数(%)	67	77	163		
		成果指標	行政区等公民館利用者の満足度(%)	71.4	73	75		

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	15,878	9,800	9,800	35,478	
事業費(A)		15,878	9,800	9,800	35,478	
主な事業費内訳		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	12.8
総コスト(A+B)		17,618	11,540	11,540	総コスト計	40,698
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	いとしま共創プラン(小学校区を核とした地域主体のまちづくり)を推進する
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

## 【事業の内容について】

事業名	校区まちづくり推進事業				担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	地域にある課題の解決や地域資源を活用したまちづくりを行うため、小学校区を単位とする地域コミュニティの振興を図るために実施するもの。				事業主体	小学校校区等		
					実施方法	補助		
事業内容	長期総合計画の重点プロジェクトである校区まちづくり事業を推進するために、各校区で計画した事業で、事業の継続性・発展性があるもの、校区の課題解決につながるもの、魅力ある資源や人材を活用するものについて人的・財政的支援を行う。 >15校区への財政的支援 ・校区まちづくり推進事業補助金 ・補助金の限度額: 校区の人口数に応じて100万円～120万円 ・補助率: 100%(ただし、備品購入費については90%とし、補助金の限度額の2分の1を超えない額とする。)				進捗状況・現状	・H22～校区まちづくり事業開始 ・校区計画策定、施設整備、実践活動を実施 ・H26～校区単位の実践活動へ改正 ・H26～H29は225事業 59,603千円を交付 ・H30は、各校区上限100万円補助を実施(1年間の暫定措置) ・H30に共創プラン(校区まちづくり計画)の検証と改訂を実施		
事業期間	平成31年度～平成33年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	48,900	千円	(うち市予算化分)	48,900	予算科目	款	項	目
						2	1	7
昨年度の実施計画に計上した総事業費	15,300	千円		15,300	千円			
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民	地域コミュニティの強化	活動指標	地域団体等が行う実施事業数(事業)		0	15	45	
		成果指標	地域の行事へ参加している割合(%)		0	29.8	50	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	16,300	16,300	16,300	48,900	
事業費(A)		16,300	16,300	16,300	48,900	
主な事業費内訳		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.3	0.3	0.3	平均人件費	8,700
人件費(B)		2,610	2,610	2,610	人件費割合(%)	13.8
総コスト(A+B)		18,910	18,910	18,910	総コスト計	56,730
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

## 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

### 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	生涯学習環境を整備し、学びを支援する
重点プロジェクト	該当なし

### 【事業の内容について】

事業名	市立公民館設備改修事業			担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	長系公民館の空調設備は設置から20年以上経過しており、老朽化が進んでいる。また、今後故障した場合、交換部品の調達が困難となることが想定されることから、整備を図る。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	老朽化した空調設備の改修工事を実施する。			進捗状況・現状	長系公民館の空調設備は設置から20年以上経過しており、空調機器の老朽化が進んでいる。公民館は避難所としての機能も求められることから、緊急度が高い事業である。		
事業期間	平成29年度～平成31年度(3年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	45,118	千円	(うち市予算化分) 45,118	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	39,003	千円	39,003	千円	10	4	3
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
施設利用者	快適な施設利用	活動指標	新たに空調改修を実施する公民館数(館)	1	1	1	
		成果指標	新たに快適な空調設備が整う公民館数(館)	0	1	1	

### 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債	17,500			17,500	
	その他				0	
	一般財源(a)	2			2	
事業費(A)		17,502	0	0	17,502	
主な事業費内訳		空調設備改修工事費				
従事職員数(人)		0.2			平均人件費	8,700
人件費(B)		1,740	0	0	人件費割合(%)	9.0
総コスト(A+B)		19,242	0	0	総コスト計	19,242
財源の種類	特定財源の名称 (用途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
地方債	緊急減災・防災事業債	(充当率 100%)			90%	

## 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

### 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	生涯学習環境を整備し、学びを支援する
重点プロジェクト	該当なし

### 【事業の内容について】

事業名	怡土公民館大規模改修事業			担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	怡土公民館の大規模改修を実施し、施設利用者に安全で快適な施設提供を行う。併せて、施設の長寿命化を図る。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	大規模改修を実施し、施設の長寿命化を図る。 改修事業の内容として、 施設の屋根や外壁の防水工事、 内装改修工事 電気設備、空調設備等の付帯設備の改修工事 バリアフリー(エレベータ設置等)に対応改修工事などを行う。			進捗状況・現状	怡土公民館は建築から32年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。公民館は、生涯学習、校区まちづくりの拠点施設であるとともに、避難所でもあることから、利用者への快適な施設提供が求められる。		
事業期間	平成33年度～平成34年度(2年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	55,554	千円	(うち市予算化分) 55,554	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円	10	4	3
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
施設利用者	快適な施設利用	活動指標	怡土公民館大規模改修実施	1	1	1	
		成果指標	怡土公民館大規模改修完了	0	0	1	

### 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債			2,400	2,400	
	その他				0	
	一般財源(a)			270	270	
事業費(A)		0	0	2,670	2,670	
主な事業費内訳				設計業務委託料		
従事職員数(人)				0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		0	0	1,740	人件費割合(%)	39.5
総コスト(A+B)		0	0	4,410	総コスト計	4,410
財源の種類	特定財源の名称 (用途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
地方債	公共施設等適正管理推進事業債	(充当率 90%)			30%	



## 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

### 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	生涯学習環境を整備し、学びを支援する
重点プロジェクト	該当なし

### 【事業の内容について】

事業名	引津公民館大規模改修事業			担当部課	教育部	生涯学習課	
事業目的	引津公民館の大規模改修を実施し、施設利用者に安全で快適な施設提供を行う。併せて、施設の長寿命化を図る。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	大規模改修を実施し、施設の長寿命化を図る。 改修事業の内容として、 施設の屋根や外壁の防水工事、 内装改修工事 電気設備、空調設備等の付帯設備の改修工事 バリアフリー対応改修工事 などを行う。			進捗状況・ 現状	引津公民館は建築から27年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。公民館は、生涯学習、校区まちづくりの拠点施設であるとともに、避難所でもあることから、利用者への快適な施設提供が求められる。		
事業期間	平成33年度～平成34年度(2年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	70,428	千円	(うち市予算化分) 70,428	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円	10	4	3
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
施設利用者	快適な施設利用	活動指標	引津公民館大規模改修実施(件)	1	1	1	
		成果指標	引津公民館大規模改修完了(件)	0	0	1	

### 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債			3,000	3,000	
	その他				0	
	一般財源(a)			354	354	
事業費(A)		0	0	3,354	3,354	
主な事業費内訳				設計業務委託		
従事職員数(人)				0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		0	0	1,740	人件費割合(%)	34.2
総コスト(A+B)		0	0	5,094	総コスト計	5,094
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
地方債	公共施設等適正管理推進事業債	(充当率 90%)			30%	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	運動公園等整備事業				担当部課	企画部	経営戦略課		
事業目的	運動機能、交流機能、防災機能等を備えた運動公園を整備し、都市機能の充実及び生涯学習機会の充実を図ることで、多くの市民の満足度を向上させる。 また、防災拠点となる多目的体育館、広場、災害備蓄庫などの施設整備を行うことで、市民の生命、財産を守る体制を強化する。				事業主体	糸島市			
					実施方法	その他			
事業内容	導入機能・規模 ・場所：雷山運動広場及びその周辺 ・面積：約58,000㎡ ・施設：多目的体育館(約7,200㎡)、公園、フリースペース、駐車場等 ・機能：運動機能、交流機能、防災機能 整備手法・整備費用 ・整備手法：設計、施工、運営管理を一括発注する「DBO方式」 ・整備費用：約50億円				進捗状況 ・ 現状	H24.3 「総合運動公園の整備を求める請願」の採択 H25.12 「運動公園等の整備に関する方針」の決定 H27.4 「糸島市運動公園等整備構想」の策定 H28.3 「糸島市長期総合計画後期基本計画」の策定 H29.3 「糸島市運動公園等整備計画」の決定 H30年度 実施方針・要求水準書の策定、地質調査・事前測量、不動産鑑定			
事業期間	平成30年度～平成34年度(5年間)				会計種類	一般会計			
総事業費	4,965,490	千円	(うち市予算化分)	4,965,490	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	4,965,490	千円	4,965,490	千円	2		1	7	
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値		
市民	運動機能、交流機能、防災機能等を備えた運動公園等を利用できること	活動指標	運動公園等の整備(%)			0	0	100	
		成果指標	運動施設の利用者数(人)			-	-	-	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金			253,152	253,152	
	県支出金				0	
	地方債	105,700	100,700	1,824,400	2,030,800	
	その他				0	
	一般財源(a)	26,029	11,283	203,074	240,386	
事業費(A)		131,729	111,983	2,280,626	2,524,338	
主な事業費内訳		事業者公募業務支援委託費 用地取得費 委員会報償費	設計業務委託費	工事監理業務委託費 建設費		
従事職員数(人)		3	3	3	平均人件費	8,700
人件費(B)		26,100	26,100	26,100	人件費割合(%)	3.0
総コスト(A+B)		157,829	138,083	2,306,726	総コスト計	2,602,638
財源の種類	特定財源の名称 (用途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
国庫支出金	学校施設環境改善交付金	学校施設環境改善交付金交付要綱			33%	
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	社会資本整備総合交付金交付要綱			50%	
地方債	合併推進債	合併特例事業推進要綱 (充当率 90%)			40%	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	スポーツチャレンジ事業(ヤングシニア生きいき分)				担当部課	教育部	生涯学習課		
事業目的	スポーツを始めるきっかけづくり及びスポーツ習慣や健康志向の定着を図る。				事業主体	糸島市			
					実施方法	直営			
事業内容	ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックの日本開催をひかえ、全国的にスポーツ振興の機運が高まっている。本市においてもこれらを契機に、スポーツ推進委員と連携等し、スポーツ振興を図る。 一流アスリートによるスポーツ教室(講演や指導)の実施 スポーツ、ニュースポーツ指導等の拡充 スポーツを始めるきっかけとなる体験教室等の実施				進捗状況・現状	現在、何らかの運動を行っている市民は3人に1人の割合。 何らかの運動を行いたいとの意識はあるが、きっかけがない状況にある。 【平成29年度事業】 ・トップアスリート講演会;1回 ・ニュースポーツ指導等;延16回 ・体験教室等;延5回			
事業期間	平成29年度～平成32年度(4年間)				会計種類	一般会計			
総事業費	10,520	千円	(うち市予算化分)	10,520	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	10,820	千円		10,820	千円		10	5	1
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値		
市民	スポーツをしたい健康になりたい		活動指標	スポーツ事業実施回数(回/年)	1	20	25		
			成果指標	日頃からスポーツに親しんでいる人の割合(%)	25	27.1	33.3		

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	1,302	1,302		2,604	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	1,303	1,303		2,606	
事業費(A)		2,605	2,605	0	5,210	
主な事業費内訳		報酬、報償費、委託料、需用費	報酬、報償費、委託料、需用費			
従事職員数(人)		0.5	0.5		平均人件費	8,700
人件費(B)		4,350	4,350	0	人件費割合(%)	62.5
総コスト(A+B)		6,955	6,955	0	総コスト計	13,910
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
国庫支出金	地方創生推進交付金	地方再生法			50%	

## 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

### 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(2) 生涯学習機会の充実
施策	スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	該当なし

### 【事業の内容について】

事業名	体育施設改修整備事業				担当部課	教育部	生涯学習課		
事業目的	体育施設の改修を行い、施設の安全性及び利便性を高め、利用者の増進を促すなどスポーツ振興を図る。				事業主体	糸島市			
					実施方法	直営			
事業内容	体育施設の危険箇所等の改修を計画的に行う。 [平成31年度] ・芥屋野球場防球ネット設置(一塁側) ・志摩体育館アリーナ改修 ・曾根野球場防球ネット設置(三塁側) 等 [平成32年度] ・曾根野球場トイレ下水化工事 ・芥屋野球場トイレ改修 等 [平成33年度] ・トイレ一部洋式化 等				進捗状況・現状	[平成29年度] ・曾根野球場防球ネット設置(一塁側) ・深江テニスコートコート面改修 [平成30年度] ・志摩体育館天井改修工事 ・芥屋野球場防球ネット設置工事(三塁側)			
事業期間	平成29年度～平成33年度(5年間)				会計種類	一般会計			
総事業費	134,278	千円	(うち市予算化分) 134,278	千円	予算科目	款	項	目	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	121,729	千円	121,729	千円		10	5	2	
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値		
体育施設利用者	安全に体育施設を利用したい 快適に体育施設を利用したい	活動指標	改修した体育施設数(施設)			0	2	7	
		成果指標	体育施設利用者数(人)			136,324	174,043	180,000	

### 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	41,326	15,000	1,800	58,126	
事業費(A)		41,326	15,000	1,800	58,126	
主な事業費内訳		工事請負費	工事請負費	工事請負費		
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	8.2
総コスト(A+B)		43,066	16,740	3,540	総コスト計	63,346
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(3) 人権・同和教育の推進
施策	人権問題解決のための啓発活動を推進する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	人権擁護推進事業(性的マイノリティ支援事業)			担当部課	人権福祉部	人権・男女共同参画推進課		
事業目的	性的マイノリティの人権が尊重される社会とは、すべての人にとって住みやすい社会であるとの考え方に基づき、市民が正しい理解と認識を深め、お互いを尊重し合う住みよい人権社会の実現を目指す。			事業主体	糸島市			
				実施方法	一部委託			
事業内容	性的マイノリティに対する啓発を行い、LGBTQの方に対する理解を促進する。 【啓発と環境整備】 人権フォーラムの開催 職員向けの研修会及び市民を交えたパネルディスカッションを実施し、幅広い啓発を推進する。 マイノリティの方に対する相談支援 マイノリティの方が抱える悩みについて、相談できる窓口を委託し、課題解決につなげていく。 パンフレットによる啓発 パンフレットを作成し、各種研修会で活用し市民の理解を深める。 パートナシップ制度導入の検討 人権擁護の観点から、マイノリティの方の関係を公的に認証し、抱える生き辛さの解消につなげる。			進捗状況・現状	糸島市人権教育・啓発基本対策指針の分野別施策に取りあげ、啓発教育を実施している。			
事業期間	平成31年度～平成33年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	2,442	千円	(うち市予算化分) 2,442	千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円		3	1	1
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値		
市民 (性的マイノリティ)	抱える生き辛さの解消	活動指標	研修会等の参加人数(人)	0	550	1,800		
		成果指標	「生き辛さが(少し)解消された」(%) 相談や宣誓の利用者アンケートを実施し、調査	0.0	50.0	80.0		

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金	1,442			1,442	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	246	377	377	1,000	
事業費(A)		1,688	377	377	2,442	
主な事業費内訳		報償費、旅費、需用費、 役務費、委託料、使用料	報償費、旅費、需用費、 役務費、委託料、使用料	報償費、旅費、需用費、 役務費、委託料、使用料		
従事職員数(人)		1.4	0.8	0.6	平均人件費	8,700
人件費(B)		12,180	6,960	5,220	人件費割合(%)	90.9
総コスト(A+B)		13,868	7,337	5,597	総コスト計	26,802
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
県支出金	人権啓発活動地方委託事業	平成31年度人権啓発活動地方委託事業実施計画			対象部分に対し100%	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(4) 男女共同参画の推進
施策	あらゆる分野において男女共同参画を実現するための取組を推進する
重点プロジェクト	しごとづくりプロジェクト

## 【事業の内容について】

事業名	女性が輝くミライ事業				担当部課	人権福祉部 人権・男女共同参画推進課		
事業目的	これからの糸島を担う若年者を中心に、男女共同参画社会の推進に必要なジェンダーの視点を啓発し、社会人として自立して「生きる力」を育成するとともに、働きたいと思う女性の就業を支援する。				事業主体	糸島市		
					実施方法	直営		
事業内容	<p>【若年者向け啓発冊子配布事業】 若年者向けの啓発冊子を作成し、市内小・中学校に配布。</p> <p>【職場体験交流会事業】 市内企業で働く「先輩たち」との交流を通じ、糸島で「働く」ことの意味を考える機会を提供。</p> <p>【キャリア教育出前講座事業】 市内小学校や中学校、高校等に出向き、ジェンダーの視点から、楽しく学ぶ機会を提供。</p> <p>【ミライ会議事業】 ジェンダーの視点を踏まえ、今後の「生き方」や「生きる力」について、自分たちで考え、議論する場を創出。</p> <p>【女性の再就職支援事業】 資格取得講座を開催(委託)し、再就職や就業継続に向け希望する女性を支援。</p>				進捗状況・現状	<p>平成29年度から事業開始。 平成29年度実績</p> <p>【若年者向け啓発冊子配布事業】 市内中学校全てに配布済 配布冊数:1,015冊</p> <p>【キャリア教育出前講座事業】 開催回数:10回 受講人数:962人</p> <p>生徒及び教員向けに実施</p> <p>【女性の再就職支援事業】 商工観光課と連携して、就職面談会に向けた支援講座を9月、11月に開催。参加者:315人 就職者数15人、起業者数3人</p>		
事業期間	平成29年度～平成31年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	4,694	千円	(うち市予算化分)	4,694	予算科目	款	項	目
	5,265	千円	5,265	千円		2	1	11
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民(子ども)	市民の意識向上		活動指標	キャリア教育受講者(人)	962	3,000	3,000	
			成果指標	「これからの人生を考えるのに役に立った。」(%) 受講後、アンケートを実施	46.8	98.0	98.0	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他	160			160	
	一般財源(a)	1,726			1,726	
事業費(A)		1,886	0	0	1,886	
主な事業費内訳		報償費、委託料				
従事職員数(人)		0.8			平均人件費	8,700
人件費(B)		6,960	0	0	人件費割合(%)	78.7
総コスト(A+B)		8,846	0	0	総コスト計	8,846
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
その他	参加者負担金	@8,000円×20人=160,000円			定額	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(4) 男女共同参画の推進
施策	あらゆる分野において男女共同参画を実現するための取組を推進する
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

## 【事業の内容について】

事業名	自治会の男女共同参画促進事業			担当部課	人権福祉部 人権・男女共同参画推進課		
事業目的	積極的改善措置として、校区・行政区自治会役員の「女性登用」を応援すること。			事業主体	糸島市		
				実施方法	一部委託		
事業内容	男女共同参画社会基本法制定20周年を契機に、市独自の新たな啓発事業を展開する。 行政区の女性登用調査の結果を踏まえた「自治会の男女共同参画啓発冊子」を作成。 校区単位の男女共同参画講演会を開催。啓発冊子配付。 各校区・行政区の規約等に男女共同参画(役員の女性登用)の推進規定を設けることを個別に支援する。			進捗状況・現状	平成30年度に、行政区長に対し、行政区の女性登用調査を実施。 なお、平成21年の女性行政区長は3人。平成26年の女性行政区長は5人。平成30年の女性行政区長は4人。		
事業期間	平成31年度～平成33年度(3年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	2,472	千円	(うち市予算化分) 2,472 千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	- 千円		2	1	11
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
校区・行政区等の自治会	男女の役割分担意識の排除 まちづくりに対する女性の意思の反映	活動指標	啓発冊子の配布数(冊)	0	1,000	5,000	
		成果指標	規約等の改正自治会数(箇所)	0	3	10	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	1,344	564	564	2,472	
事業費(A)		1,344	564	564	2,472	
主な事業費内訳		報償費、委託料、需用費、旅費、役務費	報償費、旅費、需用費、役務費	報償費、旅費、需用費、役務費		
従事職員数(人)		1.2	0.8	0.8	平均人件費	8,700
人件費(B)		10,440	6,960	6,960	人件費割合(%)	90.8
総コスト(A+B)		11,784	7,524	7,524	総コスト計	26,832
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5)文化・芸術の創造
施策	文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	国宝・重要文化財保存事業				担当部課	教育部	文化課		
事業目的	怡土城跡、泊地区の古墳群を始めとする市内の重要遺跡を保護し、整備活用、史跡指定を行うため、発掘調査を実施し、その成果をもとに調査研究を行い遺跡の実態を解明する。また、個人住宅建設のための発掘調査を、建築主に費用負担を求めることなく実施する。				事業主体	糸島市			
					実施方法	直営			
事業内容	近年の豪雨災害等で遺跡や古墳の崩落等が発生し、市民の安全な生活に支障をきたしている部分がある。そこで、平成31年度から3～5年かけて怡土城跡と泊地区の古墳群の保存を目的とした発掘調査を行い、遺跡に関する情報を収集することで、遺跡の保全と安全な市民生活の両立を可能とする史跡整備・管理のための基礎的な環境・資料整理を行う。				進捗状況・現状	H25;三雲南小路地区・史跡怡土城跡発掘調査。三雲・井原遺跡総括報告書作成。 H26～H28;三雲番上地区発掘調査 H29;三雲・井原遺跡国史跡指定。三雲・井原遺跡報告書作成。 H30;三雲・井原遺跡報告書作成。			
事業期間	昭和54年度～平成41年度(51年間)				会計種類	一般会計			
総事業費	801,496	千円	(うち市予算化分)	801,496	千円	款	項	目	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	801,496	千円		801,496	千円	10	4	5	
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			現状値	当該年度目標値	最終目標値		
市民、国民、文化財愛好者	重要遺跡の実態の解明	活動指標	重要遺跡の調査報告書(冊)			8	0	10	
		成果指標	国史跡指定の新規又は追加指定件数(件)			1	0	2	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	4,000	4,000	4,000	12,000	
	県支出金	300	300	300	900	
	地方債				0	
	その他	3,700			3,700	
	一般財源(a)		3,700	3,700	7,400	
事業費(A)		8,000	8,000	8,000	24,000	
主な事業費内訳		賃金、委託料 使用料及び賃借料	賃金、委託料 使用料及び賃借料	賃金、委託料 使用料及び賃借料		
従事職員数(人)		0.5	0.5	0.5	平均人件費	8,700
人件費(B)		4,350	4,350	4,350	人件費割合(%)	35.2
総コスト(A+B)		12,350	12,350	12,350	総コスト計	37,050
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
国庫支出金	国宝重要文化財等保存整備費補助金	文化財保存事業費関係補助金交付要綱			50%	
県支出金	福岡県文化財保護事業補助金	福岡県文化財保護事業補助金交付要綱(			15%(限度額300千円)	
その他	糸島市ふるさと応援基金	糸島市ふるさと応援寄附条例				



## 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

### 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5)文化・芸術の創造
施策	文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

### 【事業の内容について】

事業名	文化財保存整備事業(新町支石墓群)			担当部課	教育部	文化課	
事業目的	国史跡新町支石墓群の整備を実施し、活用を図る。国史跡は保存するだけでなく、市民生活への活用が求められる。用地の取得が完了し、整備に関する条件が整った新町支石墓群の史跡公園整備事業を実施するための第1段階として、保存活用計画を策定する。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	31年度に事業に着手する。 ・31年度 保存活用計画策定			進捗状況・現状	新町支石墓群は平成28年度で史跡用地の公有化が完了している。地元からの要望も強く、早急に史跡公園として整備するための事業に着手する必要がある。		
事業期間	平成31年度(1年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	4,000	千円	(うち市予算化分) 4,000 千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	- 千円		10	4	5
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民	国史跡が整備されることで史跡の歴史的価値が理解されるようになる	活動指標	新町支石墓群の保存活用計画の策定(件)	0	1	1	
		成果指標	-	-	-	-	

### 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	2,000			2,000	
	県支出金	300			300	
	地方債				0	
	その他	1,700			1,700	
	一般財源(a)				0	
事業費(A)		4,000	0	0	4,000	
主な事業費内訳		委託料、報償費・旅費				
従事職員数(人)		0.5			平均人件費	8,700
人件費(B)		4,350	0	0	人件費割合(%)	52.1
総コスト(A+B)		8,350	0	0	総コスト計	8,350
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
国庫支出金	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業	文化財保存事業費関係補助金交付要綱			50%	
県支出金	福岡県文化財保護事業補助金	福岡県文化財保護事業補助金交付要綱			15% (限度額300千円)	
その他	糸島市ふるさと応援基金	糸島市ふるさと応援寄附条例				

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5)文化・芸術の創造
施策	文化施設を整備し、文化・芸術活動を推進する
重点プロジェクト	該当なし

## 【事業の内容について】

事業名	伊都文化会館音響設備等更新事業			担当部課	教育部	文化課	
事業目的	文化・芸術活動の拠点である伊都文化会館は、竣工30年以上が経過し、大ホールの音響施設の経年劣化が著しい。また、音響卓には既に不具合が生じているため、至急、更新の必要がある。ホールの心臓部である音響設備の故障は、館の運営上、致命的である。しかしながら、工事費が高額となるため、不具合が生じている音響卓等の更新をリース契約として対応する。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	リース機器 音響卓等、コントロールモニータースピーカー パッチパネル架、インターカム装置  リース期間 60ヶ月(H32.1~H36.12)			進捗状況・現状	H27 研修棟スライディングウォール改修、太陽光装置設置 多目的ルーム新設 H28 大ホール床改修、外壁補修エレベーター設置		
事業期間	平成31年度～平成36年度(6年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	21,626	千円	(うち市予算化分) 21,626	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	-	千円	-	千円	10	4	11
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市民ニーズ	安定的な音響サービスの享受	活動指標	音響装置更新(リース)(%)	0	16.7	100	
		成果指標	安定的な音響サービスの提供(%)	0	100	100	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源(a)	1,082	4,325	4,325	9,732	
事業費(A)		1,082	4,325	4,325	9,732	
主な事業費内訳		リース	リース	リース		
従事職員数(人)		0.5	0.5	0	平均人件費	8,700
人件費(B)		4,350	4,350	0	人件費割合(%)	47.2
総コスト(A+B)		5,432	8,675	4,325	総コスト計	18,432
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

# 基本目標 5 みんなの力で進める協働のまちづくり

## 【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(6)九州大学との交流の推進
施策	大学生、留学生、研究者への情報提供、生活環境整備、交流促進を図る
重点プロジェクト	九州大学を生かした地域づくりプロジェクト

## 【事業の内容について】

事業名	九大寺子屋事業				担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	九大生が自らの研究内容を分かりやすく児童に教えることで、児童の学習意欲の向上を図ること。 (副次的:児童の将来の夢の創造、九大生への憧れの喚起、郷土愛の醸成により、子育て世代の移住促進)				事業主体	糸島市		
					実施方法	直営		
事業内容	九大生が市内小学校に出向き、自らが学ぶ研究内容を分かりやすく児童に教える。 市内小学校で実施(5年生対象、原則土曜授業)。H31年度は12校での実施を想定。 九大生に謝礼と交通費を合わせた諸謝礼を支給。授業に必要な消耗品(実験グッズ等)も支給する。 九大生は、寺子屋本番のみならず、事前準備、事後反省会を重ね、より良い授業づくりを心掛ける。				進捗状況・現状	H27:1校(計10コマ)、H28:2校(計18コマ)、H29:5校(計30コマ)で実施(糸島地域広域連携プロジェクト推進会議主催)。H30は市主催で8校(33コマ)実施。 児童、保護者、学校から一定の評価あり。 質の高い九大生の確保と継続性、全市的な広がり、市職員の事務負担(マンパワー不足)が課題。		
事業期間	平成30年度～平成32年度(3年間)				会計種類	一般会計		
総事業費	5,612	千円	(うち市予算化分)	5,612	千円	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	4,800	千円		4,800	千円	2	1	7
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		現状値	当該年度目標値	最終目標値	
市内の児童	学習意欲の向上		活動指標	九大寺子屋の実施校(累計:校)	8	12	16	
			成果指標	勉強をして、おもしろい、とても楽しいと思う児童の割合(%)	86	88	90	

## 【事業費について】

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他	2,006			2,006	
	一般財源(a)		2,006		2,006	
事業費(A)		2,006	2,006	0	4,012	
主な事業費内訳		>報償費:1,746 >消耗品費150 >賃金:106	>諸謝礼:1,746 >消耗品費150 >賃金:106			
従事職員数(人)		0.75	0.75		平均人件費	8,700
人件費(B)		6,525	6,525	0	人件費割合(%)	76.5
総コスト(A+B)		8,531	8,531	0	総コスト計	17,062
財源の種類	特定財源の名称(使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
その他	糸島市ふるさと応援基金	糸島市ふるさと応援寄附条例				